

流域の主な災害

松本砂防は、糸魚川 - 静岡構造線にほぼ沿って長野県北部から新潟県南部にかけて流れる姫川、槍ヶ岳に源を発し渓谷の急勾配を流れ落ちる高瀬川、槍ヶ岳から穂高連峰の東麓を通り大正池に注ぎ、焼岳噴火による荒廃が著しい四塩沢に合流していく梓川、の三流域の砂防事業をおこなっています。三流域はそれぞれの形状、地質的な特質からくる土砂災害に見舞われてきました。上流の山中が荒廃し、本川に土砂を大量に吐きだし、それが大雨で土石流となり、堰止められて決壊、洪水に至るといふ災害です。

近年の主な災害

天昇 1年	1584	焼岳大噴火。中尾峠爆裂火口より泥流が神坂地区まで流下。
享保 20年頃	1735	割谷火山の東側に山崩れ。上高地温泉付近に『押し出し』を形成。
延享 3年	1746	焼岳噴火し、国中に大地震。
宝暦 7年	1757	砥畑山崩れ、2日間水を止め一気に流出し下流に大災害をもたらす。
文化元年	1802	角ヶ平大荒れ、山の押し出しで人家が埋まる。
明治 20年	1887	明才堰が決壊し、中抜け崩壊発生。
明治 23年	8月2日	1890 梓川大洪水。
明治 29年	1896	奈川村角ヶ平の向山崩れ。6戸埋没、死者 12名。松本大水害。
明治 35年	7月1日	1902 姫川洪水。南小谷村小土山崩壊。
明治 42年	1909	焼岳数十回爆発。
明治 43年	8月1日	1910 高瀬川ほか小河川による水害。姫川洪水、沿岸一帯に水害。
明治 44年	8月	1911 稗田山大崩壊。姫川を堰き止める。
明治 45年	7月2日	1912 大豪雨、姫川沿岸一帯に被害。
大正 4年	6月	1915 焼岳大爆発により大正池出現。
大正 6年	7月	1917 松川・平河大洪水で大被害。
大正 12年	4月	1923 豪雨のため姫川洪水。来馬地区は流失。
大正 13年	8月2日	1924 根知村地内堤防が所決壊。約 130時間流出。
昭和 6年	7月	1931 松川平河大洪水で大被害。
昭和 9年	7月1日	1934 平河堤防決壊。北城地区大水害。
昭和 11年	5月2日	1936 雪解けで風吹岳が崩壊。2日間土石流が流出。
	6月2日	根知村上野地内堤防 150m決壊。
昭和 14年	4月2日	1939 南小谷村風張山が崩落し、姫川を堰き止める。
昭和 20年	10月	1945 島ヶ谷土石流。
昭和 21年	6月	1946 豪雨により平川、松川が氾濫。
	6月2日	来馬・常法寺付近で地すべり。
昭和 23年	7月2日	1948 雷雨で風吹岳より泥土流出。姫川を堰き止める。
昭和 28年	9月2日	1953 根知村小屋内堤防 60m決壊。
昭和 34年	7月1日	1959 平川・松川氾濫。被害 4,500万円。大系線不通。
	9月2日	台風 15号のため松川堤防が決壊。
昭和 36年	6月2日	1961 梅雨前線により善六沢に大土石流。
昭和 37年	6月1日	1962 焼岳爆発。
昭和 38年	1963	集中豪雨。梓川本川各地が氾濫。
昭和 39年	7月	1964 梅雨前線により根知川氾濫。被害 1億円。
	8月2日	浦河で土石流発生。河床上昇 12~20m。姫川本川を堰き止め多大な被害に。
昭和 40年	5月	1965 浦川上流で土砂崩れ。姫川本川を堰き止める。大系線不通、橋梁が流出する。
	7月1日	集中豪雨で根知川氾濫。被害 2億円。
	9月1日	台風 24号。根知川流域被害 22億円。
昭和 41年	1966	浦川に土石流発生。
昭和 42年	1967	大所川赤禿山の地すべり性大崩壊で大被害。
昭和 44年	8月	1969 集中豪雨で洪水。根知川流域被害 4.9億円。
	8月1日	秋雨前線により高瀬川大洪水。葛温泉が水没する。
昭和 50年	7月	1975 集中豪雨で、八右衛門沢、白沢で土石流。
昭和 53年	6月1日	1978 梅雨前線による豪雨で玄沢、善六沢、白沢に土石流。
	6月2日	豪雨による洪水で、白馬村の水神宮橋が落下。
昭和 54年	8月23日	1979 台風 11号により、上高地各地で土石流。浦川にも土石流発生。
昭和 56年	5月1日	1981 浦川に大規模な土石流発生。姫川まで到達。
	6月2日	姫川増水により小谷橋決壊。
	8月2日	台風 15号で濁沢、白井沢、中俣川に土砂災害。
昭和 58年	9月2日	1983 台風 10号で奈川村集中豪雨。被害 5億円。
平成 3年	3月	1991 ヒスイ峡に大規模な地すべり発生。
	10月1日	梓川猿なご洞門付近で地すべり。
平成 4年	4月	1992 浦川に大規模な土石流発生。砂防ダムがこれを堰き止める。
平成 7年	7月1日	梅雨前線による集中豪雨で小谷村、糸魚川市を中心に被害続出。大系線に大打撃を与える。
平成 8年	12月	1966 蒲原沢上流部が崩壊し、土石流を引き起こす。死者 14名。負傷 9名。
平成 11年	9月1日	1999 県道上高地公園線の釜トンネル出口での土砂崩落により 1300人が孤立。



大正 4年 6月
焼岳の大噴火

焼岳が大爆発。崩壊で泥流が発生して梓川を堰止め、決壊、洪水を引き起こしました。上高地の大正池は、このとき流下した土砂が梓川を堰止めて誕生したものです。



災害前



災害後

(撮影 大町市山本携挙氏)

(撮影 大町市山本携挙氏)

昭和 44年 8月 1日
梅雨前線の豪雨で高瀬川に土石流

新潟県南部および長野県北部に停滞していた梅雨前線が活発化、上越地方を中心に 13日早朝までの 38時間にわたり大雨が降りました。上流域に荒廃地を持つ高瀬川で大規模な土石流が発生し、葛温泉がほぼ完全に流出(写真右)、大町市源沢の猫鼻砂防ダムが決壊するなどの被害を受けました。



昭和 54年 8月 2日

台風で上高地豪雨災害

上高地は台風 11号の影響で最大時間雨量 50mm、連続雨量 285mmという豪雨に見舞われました。大量の土砂が土石流となって流下。県道上高地公園線が寸断され通行止め、3000人の観光客が一週間にわたって缶詰状態になりました。

平成 7年 7月 1日

梅雨末期の豪雨で姫川大洪水

梅雨末期の豪雨となり、局地的には総雨量 400mmを記録する大雨が降りました。姫川全流域で山肌が崩れ、姫川水系の 38箇所でも土石流が発生、道路が寸断され 19集落 42世帯が孤立、大系線も長期にわたり不通となりました。また、土砂が支川から本川に流れ込み堆積したために、ひどいところでは河床が 10m以上も上昇、大量の土砂を伴った大洪水が本川を流下し、下流の糸魚川市の堤防を決壊させました。全壊、半壊の家屋 54戸、床上・床下浸水 450戸という大きな被害を出しました。

平成 8年 12月 6日

蒲原沢土石流災害

蒲原沢で大規模な土石流が発生、砂防工事、治山工事および橋梁工事に従事していた方々が巻き込まれ、死者 14名を出す大惨事となりました。

梓川上流の河床上昇

大正 4年の焼岳噴火によって梓川が塞き止められ大正池が出来ると、梓川の土砂流出はいったん分断されることとなり、上流では土砂の堆積が進み、河床の上昇を引き起こすようになりました。

写真は、梓川上流白沢合流点付近の白沢橋です。平成 4年から平成 12年までのわずか 8年の間でも、河床が上昇していることがわかります。

白沢合流点付近、白沢橋



平成 4年撮影



平成 12年撮影



昭和 56年 9月 2日

集中豪雨で奈川村孤立状態

台風 10号の影響で連日降り続いた雨は、最大時間雨量 37、総雨量 289 を記録。上流から流出した崩壊土砂と流木は奈川本川の両岸の堤防を決壊させ、公共施設、住宅等が流失、道路が寸断され村は孤立状態に。被害総額は 5億円に達しました。

